



学校だより

平成 27 (2015) 年 6 月 6 日

カンタベリー日本語補習校

校長 古川 明

《 国語力（日本語力）の向上をめざして 》

1 学期が始まって1ヶ月が経ちました。小学部 1 年生に入学した子どもたちは、担任の先生の話をしっかり聞きながら、友達と仲良く勉強しています。正確なひらがなを書くためには、「書く姿勢」や「鉛筆の持ち方」についても大切なことです。

この時期の小学部低学年の重点指導目標は、担任の先生の指示や説明をしっかり聞き取り、積極的に学習に取り組む習慣を身に付けることです。9年間の学習ルールやマナーの基礎基本を学ぶのも、この時期です。子ども一人ひとりの成長と家庭環境の違いは、子どもの学習・生活習慣の定着に差が生じます。補習校と家庭の連携・協力【家庭は第二の教室、保護者は第二の担任】に基づいた継続指導が、子どもの学習・生活習慣の定着を促すこととなります。

子どもたちは海外で生活しているため、日本語にふれる機会は限られています。「話す・聞く」力は、家庭での指導によって維持されるものと思います。しかし、漢字の読み書きは、小学部 1～6 年まで「学年別漢字配当表」（※常用漢字 2,136 字の一部）、中学部 1～3 年は「その他の常用漢字」に基づき、国語科の教科書が編集されています。

小学部では、小1（80 字）、小2（160 字）、小3（200 字）、小4（200 字）、小5（185 字）、小6（181 字）で、合計 1,006 字を適切に読んだり書いたりできるようにします。

中学部では、その他の常用漢字 1,130 字を、中1（その他の常用漢字 250～300 字）、中2（その他の常用漢字 300～350 字）、中3（その他の常用漢字全て）で読めるようにします。

やみくもに「学年別漢字配当表」の漢字を練習しても、意味や使い方が理解できません。漢字（熟語）は、文章によって読み方が違ってきます。漢字（熟語）の意味を調べたり、自分の感想や考えを書く場合も漢字を使うようにします。3年以上になると漢字（熟語）を用いて、学習言語が数多く用いられます。学習言語の意味や使い方を理解することにより、読書を通して知識や日本語の表現力を高め、国語力（日本語力）を向上させます。

漢字の読み書きを習得することが、国語力（日本語力）を身に付ける鍵になります。漢字の習得は、部首、音訓、和語・漢語、熟語、複合語等、子どもたちの就学年齢に応じて編集されている国語科の教科書で、学習指導を踏まえながら学ぶことが大切です。

漢字力を定着させるコツは、すでに学んだ漢字を用いて短文づくりを数多くすることです。また、漢字検定に挑戦するため練習問題を数多く取り組み、普段から語彙を豊かにすることは、学んだ漢字の定着に大きな役割を果たします。漢字力の向上が、子どもの読解力、幅広い読書量、豊かな表現力と思考力の向上につながります。日本語で物事を考え、日本語で論文や報告書、書類を作成できる能力を培うためには、漢字の読み書きを避けて通ることはできません。国際人としてのアイデンティティーをしっかり身につけていくためにも、漢字を使いこなせる人をめざしましょう。

※平成 22 年 11 月 30 日の内閣告示により、常用漢字は 2,136 字です。

《 学校評価アンケートを実施します 》

【学校評価の目的】

- ・学校の教育活動は計画・実行・評価が連続性の中で組織的に行われており、指導の改善に積極的に生かすため。
- ・教育目標、教育計画等の実施状況や課題について保護者、日本人コミュニティーに公表すると共に、保護者、日本人コミュニティーの願いや意見を学校の教育活動に生かし相互の連携・協力を促進するため。

【実施時期と方法】

- ・6月20日（土）～6月27日（土）の間で行います。締め切りは6月27日（土）です。
- ・補習校メールを各家庭に一斉配信しますので、オンラインフォームよりご回答ください。

お知らせ① 授業参観・年次報告会

第1回授業参観は、6月20日（土）1校時（13:15～14:00）、各教室で行われます。

その後、2校時（14:05～14:50）、ホールで年次報告会が行われます。

保護者の皆様、万障お繰り合わせの上、出席いただきますようお願い申し上げます。

お知らせ② 漢字検定

第1回漢字検定は、6月13日（土）11時よりアイラム・スクールの1・2番教室で行います。受検者は、10時40分までに教室前へ集まってください。

第2回漢字検定は、1月30日（土）です。漢字検定に挑戦してみましょう。